

2015年4月1日～2017年3月31日の間に岡山大学病院 薬剤部において実務実習を行った薬学実務実習生の方へ 「薬学実務実習における超急性期病棟実習の改善」へご協力をお願い

研究機関名 岡山大学病院
研究機関長 金澤 右
研究責任者 岡山大学病院 薬剤部 教授 千堂 年昭
研究分担者 岡山大学病院 薬剤部 准教授 北村 佳久
岡山大学病院 薬剤部 薬剤主任 猪田 宏美
岡山大学病院 薬剤部 薬剤師 大川 恭昌

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

文部科学省より策定されている薬学教育モデル・コアカリキュラムには「急性期医療（救急医療・集中治療・外傷治療等）や周術期医療における適切な薬学的管理について説明できる」という項目があり、岡山大学病院でも2014年度より薬学実務実習において超急性期病棟での実習を開始しています。超急性期病棟における重症患者の疾患や身体所見、治療内容は様々ですが、現在の薬学教育モデル・コアカリキュラムには超急性期病棟における適切な薬学的管理に関する指導内容について明確に記載されておらず、実習内容はそれぞれの医療機関によって異なるのが現状です。

そこで本研究ではこれまでに薬学実務実習において超急性期病棟実習で行ったアンケート調査の解析を行うことで、具体的な実習プログラムの作成に寄与することを目的とします。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

本研究の遂行により、超急性期病棟実習における具体的な実習プログラムの作成に寄与することで、一貫した指導ができるようになり薬学実務実習の改善に貢献できると考えられます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2015年4月1日～2017年3月31日の間に岡山大学病院薬剤部において実務実習を行った薬学実務実習生の方138名を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2019年12月31日

3) 研究方法

2015年4月30日～2017年3月31日の間に、岡山大学病院薬剤部において実務実習を行った薬学実務実習生の方に対して行ったアンケート調査のデータを使用し、テキストマイニングなどを用いて超急性期病棟実習の印象を調査します。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、アンケート結果から以下の情報を使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

超急性期病棟での実習で理解できたこと、難しかったことについて

- ・カルテの見方（情報収集）
- ・バイタルなど患者状態の把握
- ・病態の理解
- ・薬物治療の理解
- ・SOAP の書き方

実習内容について（理解度と実習時間）

- ・中毒について
- ・栄養管理について
- ・TDM について

経験できた内容について

- 1．実際の症例で、TDM を経験できた
- 2．模擬症例で、TDM を経験した
- 3．重症系では、模擬症例であったが、一般病棟で実際の症例で経験できた

やってみての感想、改善点、要望などについて

超急性期病棟での実習で印象に残ったことについて

超急性期病棟での実習でもっと教えてほしいことについて

大学でもっと勉強しておけばよかったと思うことについて

7) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院薬剤部試験研究室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

8) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2018年10月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて研究対象者の皆様に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 薬剤部

氏名：大川 恭昌

電話：086-235-7654（平日：8時15分～17時00分）